平成26年度

京都景観賞
建築部門

京都市

ごあいさつ

京都市長

門川　大作

“ 伝統 ” と “ 革新 ” は一見相反することのように見えますが，実は “ 伝統 ” とは “ 革新 ” の積み重ねであると私は思います。

数百年の時を越えて受け継がれてきた伝統も，生み出された当初は革新的なものであったに違いありません。それがいつしか受け入れられて浸透し，同時にまた新たなものが創られる基礎となる，その繰り返しによって京都には多彩な伝統が確立してきました。

創意工夫を凝らし持てる技術の限りを尽くす創造の営みが，多くの人々によって千年以上も続けられてきたことに思いを致す度，私は深い感慨を覚えます。そして今回，この「京都景観賞　建築部門」を通じて，建築の分野で未来へと大切に受け継がれる伝統になることを予感させる，素晴らしい作品の数々に出会えたことは大変嬉しい限りです。

本部門は今年度が初開催でしたが，募集に対しては２６９件もの御応募をいただきました。そのいずれもが，周囲の景観に絶妙に調和し，なおかつこれまでにない新しさを感じる見事なものばかりでした。それらの中でも，ひときわ優れた建築物を厳選してこの度の各賞をお贈りいたします。

長年かけて築き上げられてきた趣ある町並みは，京都のかけがえのない宝です。その魅力を更に磨き高め，５０年後，１００年後も高い評価を得る景観の礎となる新建築を世に送り出してくださいました皆様に，深く敬意と感謝の意を表します。

本市といたしましても，皆様をはじめ多くの市民，関係者の皆様と共に，国内外の人々の目と心を更に惹き付け，あこがれを持って見つめられる魅力的なまちづくりに引き続き全力を尽くしてまいります。これからも共々に力を合わせて景観を守り，育て，創り，そして生かすことで，京都ならではの建築文化を一層発展させてまいりましょう。

京都景観賞建築部門 総評

京都景観賞建築部門審査委員会委員長

門内 輝行

山紫水明の豊かな自然に恵まれ，古代から現代に至る様々な時代の文化を蓄積してきた歴史都市・京都は，景観保全に先進的に取り組んできたにもかかわらず，20 世紀後半の乱開発により美しい景観が次々に失われ，都市の存立基盤さえ揺らぐ重大な危機に直面してきました。これに対して，京都市は平成 19 年に「新景観政策」を策定し，高さ規制，デザイン基準，屋外広告物等に関する規制などの見直し，眺望景観の保全に関する新たな条例の制定などに積極的に取り組んできました。

「京都景観賞」は，伝統文化の継承と新たな創造が調和する創意あふれる景観づくりを目指して平成 24 年に創設された制度ですが，平成 24，25 年度は「屋外広告物部門」が実施され，「建築部門」が実施されるのは今年度が初めてとなります。建築部門では，①地域の自然・歴史・文化，周辺の町並み・コミュニティ等に配慮した建築物で，今後の京都の景観形成の指標と目されるもの，②独自の工夫や創造的な視点により，新たな京都の景観形成の可能性を示唆するもの，という２つの観点から特に優れているものという基準で，審査を実施しました。

公募対象は京都市内で平成 15 年 7 月以降に新築，増築，改修等が行われた建築物とし，自薦・他薦を問わず募集しましたが，短い募集期間にもかかわらず，269 件（作品数では 240 件）もの応募をいただきました。第 1 回審査は書類審査によって現地審査対象 10 件を選び，第 2 回審査は現地審査を行った上で実施し，最終的に市長賞 3 件，優秀賞 3 件，奨励賞 20 件を決定することができました。

応募作品の内訳は新築 186 件（一般建築 134 件，戸建住宅 52 件），改修等 54 件であり，建築の規模・種類，設計者・施工者・建築主，立地環境などの観点から見て，実に多様な作品を審査することになりました。現地に行ってみると書類の印象とは大きく異なる作品もあり，書面審査のみで審査する難しさを感じたことも事実です。しかし，評価した作品を通して審査委員会の価値観や評価尺度が問われているわけですから，どのように考えて審査を実施したかを記しておく必要があると考えます。

ここで留意すべきは，「建築賞」ではなく，「景観賞」であるという点です。イギリスの景観論者 G. カレンは，「半ダースの建物が集まると，そこに建築をしのぐ芸術が芽生える」と述べて，「景観」の本質が個々の要素よりも，要素間の関係にあると述べています。単体としての建築を超えて，建築相互の関係や建築と都市・文化・自然との関係などに配慮してデザインした建築を「景観としての建築」と呼ぶことにすれば，審査過程で心がけたことは，個々の作品を選ぶだけでなく，選んだ作品の総体を通して「景観としての建築」の可能性を幅広く提示することであったと言えます。伝統建築からモダニズムの建築まで，戸建住宅から一般建築まで，新築から改修まで，単体としての建築から町並みとしての建築まで，商業建築から公共建築まで，建築家のデザインから住まい手のデザインまで，多岐に渡る建築作品を通して，京都の景観創生に貢献する建築の可能性を汲み取っていただければ幸いです。

市長賞

京都八百一本館

【建築主】株式会社 セントラルフルーツ
【設計者】鹿島建設株式会社 関西支店
【施工者】鹿島建設株式会社 関西支店

【所在地】中京区東洞院通三条下る三文字町220
【用　途】店舗，飲食，農場
【構　造】鉄筋コンクリート造
【規　模】地上3階地下1階
【施工年】平成25年（新築）
【景観規制】旧市街地型美観地区

青果物を中心とした物販店舗，飲食店及び屋上農場からなる複合施設である。

事業主の株式会社セントラルフルーツは，全国の百貨店に青果物専門店を展開するとともに，農業生産法人として農業も営んでいる。本施設は日本の「農業·流通·食」のあるべき姿を伝えることを目的に，都市における農業振興プロジェクト「八百一の杜構想」を実践するために計画されている。

建設地は15m高度地区及び旧市街地型美観地区に指定されており，商業·業務施設と住居が共存し，京町家や近代洋風建築が歴史的風情を湛える歴史的都心地区に立地している。

建物のボリューム，壁面の道路後退，道路からあまり屋内を見せすぎない窓やブラインドの配置等により近隣へ十分な配慮がなされている。スクラッチタイルを用いた微曲線のメインファサードが，素朴で優しくありながら力強さも感じさせ，周辺の町並みと一体となり，通り景観の向上に寄与している。

さらに，本物の畑土や里山の植栽，樹木を移植した３階の屋上農場では，一般に開放された遊歩道から四季の農作物の生長や収穫を眺めることができ，京都の都心部に「農場」という新しい屋上景観を創りだしている。

生産者，販売者，消費者が同じ空間を共有し，次世代に「農業」を伝えようというプロジェクトの熱い想いが建築の設計や運営手法に反映されている。その結果，歴史的な町並みに調和しつつ，これまでにない新たな優れた景観を創造した，極めて優れた建築プロジェクトである。

受賞者の声

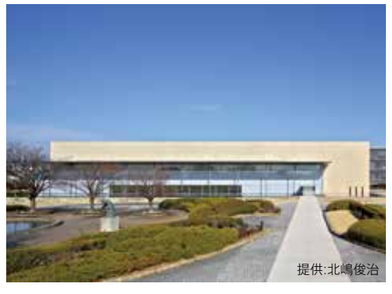
この度は，ご推薦を戴き，厚く御礼申し上げます。弊社は，創業の地京都にて，農業，流通，食の事業に取り組んで参りました。京都八百一本館は，京都の中心で農業の魅力をお伝えするものです。京の地勢や伝統にもとづき，深い軒，地域産木材の活用，井筒の再生に取り組み，また，地域やまち並みとの関係性を意識し，前面道路からの後退，容積·高さを抑えるなど，景観の形成，文化の創造に努めてきました。これからも微力ながら，地域の方々，京のまちに貢献できるよう，まい進して参ります。

株式会社セントラルフルーツ
代表取締役社長　田中 勝三

提供:北嶋俊治

市長賞

京都国立博物館 平成知新館


提供:北嶋俊治

【建築主】独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館
国土交通省近畿地方整備局
【設計者】谷口建築設計研究所
【施工者】戸田建設株式会社 大阪支店

【所在地】東山区茶屋町527
【用　途】博物館
【構　造】鉄骨鉄筋コンクリート造, 鉄筋コンクリート造, 一部 鉄骨造
【規　模】地上4階地下2階(展示室部分は地上3階)
【施工年】平成26年(新築)
【景観規制】風致地区第5種地域

提供:北嶋俊治

提供:北嶋俊治

提供:北嶋俊治

京都国立博物館は1897年に現在の明治古都館が開館し, 1965年に平常展示館が建増された。その平常展示館を建替えて整備されたものが「京都国立博物館 平成知新館」である。

建設地は15m高度地区, 風致地区第5種地域及び東山七条特別修景地域に指定されており, 敷地南側は七条通を挟んで国宝である蓮華王院(三十三間堂)と対面している。

この建築の配置に際しては東山に向かって設定された正門から明治古都館へと続く軸線(明治の軸線)に対し, 三十三間堂南大門と博物館の南門の中心を通る南北の軸線(平成の軸線)を想定し, その軸線上に平成知新館の出入口が配置されている。

明治の東西の軸線に対し, 南北の軸線を創造し, 東西軸と南北軸の直交による京都の都市構造と関係付けられた「京都の地域性」に根付いた建築と見ることができる。

平成知新館の外観は柱と軸組みによる表現, 水平に延びる佇まい, 軒の深い水平庇と軒下空間, 非対称性による構成など, 日本的空間構成要素を引用している。全面に張り出した庇が内部と外部を連続させる日本的な空間構成によって建築と自然との調和, 景観の創出に寄与している。また明治古都館と平成知新館において伝統と現代の緊張感のあるグランドデザインとなっている。

建築物内部からの景観の創造も非常に大きな貢献と言える。平成知新館のロビーは東山を背景として明治古都館を望むことができる, 京都における新たな視点場を生み出したとも考えられる。

無駄を削ぎ落とした現代の意匠性が非常に高い建築物が, 京都の都市構造と関係付けられ, さらに新たな視点場を創出しているという, 外部からの視点, 都市との関係性, 内部からの視点の3点において景観に配慮し計画された, 非常に優れた建築である。

受賞者の声

平成知新館は設計の着手から16年の歳月を経て, 昨年9月に開館しました。その外観意匠については, 「京都らしさ」を重視する京都市美観風致審議会から慎重な検討を求められたのに対し, 谷口先生は現代的な和の表現が本館との対比的な調和を生み出すことで応え, その成果がこのほど栄えある市長賞の栄誉に浴し, 関係者一同, 喜びを共にしております。

京都国立博物館長
佐々木 丞平

提供:東出清彦写真事務所

市長賞

龍谷大学 龍谷ミュージアム

【建築主】学校法人 龍谷大学
【設計者】株式会社 日建設計
【施工者】株式会社 淺沼組

【所在地】下京区堀川通正面下る丸屋町117
【用　途】博物館
【構　造】鉄筋コンクリート造，一部 鉄骨鉄筋コンクリート造，鉄骨造
【規　模】地上3階地下1階
【施工年】平成22年(新築)
【景観規制】歴史遺産型美観地区(本願寺･東寺界わい景観整備地区)

提供:東出清彦写真事務所

提供:東出清彦写真事務所

龍谷大学が開設した仏教に関する総合博物館である。

建設地は15m高度地区及び歴史遺産型美観地区(本願寺･東寺界わい景観整備地区)に指定されており，敷地西側は堀川通を挟んで世界文化遺産である西本願寺と対面し，世界遺産の緩衝地帯，いわゆるバッファゾーン内にある。また，敷地東側は油小路通に面し，重要文化財である煉瓦造建築の本願寺伝道院(旧真宗信徒生命保険株式会社本館)に近接する。周辺は西本願寺の寺内町及び門前町として発展してきた歴史的市街地であり，現在でも仏具，法衣等の宗教関連用品を扱う商店等が建ち並ぶ。

幅員の広い幹線道路である堀川通に面した西側の外観は，「街に開かれたミュージアム」というコンセプトを具現化するため，1階を全面ガラス貼りとしている。それより上階は，セラミックルーバーによる簾を外壁に設け，現代的な材料を用いた創造的な表現に挑戦している。向かいにある西本願寺と対峙するスケール感が優れていること，また隣接する和風建築ともよく調和していることなどに見られるように，和風を基調としながら，現代的な堀川通の沿道景観を形成することに大きく貢献しており，今後の新たな京都の景観形成の可能性を示唆している。

一方，幅員が狭い油小路通に面した東側の外観は，4層の構成とし，建物の軒先の高さや外壁の位置等に配慮することで周辺の低層の町並みとの調和が図られている。

敷地内に堀川通と油小路通を繋ぐ東西の通り抜け路地を設け，中庭とともに広く一般に開放しており，来館者のみならず，近隣住民や観光客にとっても魅力的な公共空間となっている。この公共空間を人々が自由に行き交うことができるようになっており，外部と内部が連続するシークエンス景観を提供している点は高く評価できる。

受賞者の声

堀川通りと東側の油小路の対照的な景観の中で，いかに街のスケールに調和させるかということを念頭に置きながら設計しました。その結果，多くの方の賛同を得られるような景観をつくることができ，さらにこの二つの通りを繋ぐ路地空間と地下に展開したエントランスホールをつくることで，街に開いた博物館になったことはこのプロジェクトの大きな特徴になっています。

株式会社 日建設計 設計部門
設計部 理事 シニアエキスパート設計長
赤木 隆

提供:スタジオムライ

優秀賞

旧森留

京都の五花街のひとつ,上七軒において,外観が大きく改変されていた茶屋建築を建設当初の姿へと復元し,住宅として活用されている。夜には格子からの光が通りを照らし,地域の人々に家族の気配を感じさせつつ,花街の夜の佇まいにも配慮されている。住まい手が家を大事に育てている様子が微笑ましくもある。

上七軒に残る茶屋の様式を良好に継承する建造物として景観重要建造物にも指定されており,上七軒通に建ち並ぶ他の茶屋建築等と一体となった町並み景観の向上に大きく寄与している。

受賞者の声

改築にあたり,外観を建設当初に戻すことと,道路側1階の部屋をダイニングキッチンにして夜は道路に灯りが漏れるようにしました。受賞は風情ある上七軒の街並のおかげと思います。地域の景観の一部として,今後も維持管理を頑張ります。

井上えり子

※改修前

【所在地】上京区真盛町
【建築主】井上年和・井上えり子
【設計者】井上年和・井上えり子
【施工者】長谷川建設
【用途】住宅
【構造】木造
【規模】地上2階
【施工年】平成17年(改修)
【景観規制】歴史遺産型美観地区　上京北野界わい景観整備地区

優秀賞

ザ・リッツ・カールトン京都

鴨川に面して東山を眺めることができる,眺望条件に恵まれた立地に建築されたホテルである。景観規制で求められる勾配屋根や軒庇といった建築様式を,現代の材料と技術を駆使した繊細なディティールで仕上げることにより,鴨川の清流と一体となった河川景観の向上に大きく寄与している。内部にも路地や庭,吹抜等が巧みに組み込まれており,京都の街中を歩くような経験を提供している点も魅力的である。

外観のみでなく,空間の構成や内装も含めた建築計画全体において,伝統文化と最新技術の融合が図られた,優れた建築である。

受賞者の声

この度は,京都景観賞「優秀賞」をいただき計画関係者一同心より光栄に感じています。京の伝統,文化のエッセンスと現代建築の融合を図り,鴨川の景観に調和する外観デザインを目指しました。市民の皆様から長く愛されるホテルになるよう期待しています。

積水ハウス株式会社 開発事業部
泉 克也

提供:プライズ山崎浩治

【所在地】中京区鴨川二条大橋畔
【建築主】積水ハウス株式会社 開発事業部
【設計者】株式会社 日建設計
【施工者】株式会社 大林組
【用途】ホテル
【構造】鉄筋コンクリート造,一部 鉄骨鉄筋コンクリート造,鉄骨造
【規模】地上4階地下3階
【施工年】平成25年(新築)
【景観規制】旧市街地型美観地区　岸辺型美観地区

優秀賞

あじき路地

細い路地の両側に面する築100年以上の12軒の町家長屋を改修して若手の職人に貸し出し，住宅兼用の工房，店舗として活用されている。住まいや暮らしの中から紡ぎ出される路地の味わいが魅力的である。

路地と京町家が織り成す町並みと，そこに息づく職住共存の生活や濃やかなコミュニティは，歴史都市・京都にとっては欠くことのできない歴史的な景観である。全ての路地に共通する防災に関する懸念は残るが，路地空間という京都の原風景を再生した意義は大きく，優秀賞にふさわしい作品である。

受賞者の声

幾度となく持ち上がった解体の危機を乗り越え，現在でも若者の住居兼工房として活用されていることに，当時の判断は間違っていなかったと思っています。古家への手入れは終わることなく，これからも続いていくことと思いますが，これからも京都の景観を守るためにも，可能な限り維持をしていきたいと思います。

安食 盛夫

【所在地】上京区大黒町通松原下る2丁目山城町284
【建築主】安食ふみ子
【施工者】井上利夫
【用　途】住居兼工房，店舗
【構　造】木造
【規　模】地上2階
【施工年】平成16年～現在（平成27年2月）（改修）
【景観規制】旧市街地型美観地区

奨励賞

上京区総合庁舎

【所在地】上京区今出川通室町西入堀出シ町285番地
【建築主】京都市
【設計者】株式会社 東畑建築事務所，株式会社 梓設計 大阪支社
【施工者】大林組・太平工業特定建設工事共同企業体
【用　途】庁舎
【構　造】鉄骨鉄筋コンクリート造
【規　模】地上4階地下1階
【施工年】平成26年（新築）
【景観規制】旧市街地型美観地区
沿道型美観形成地区

受賞者の声

この度，奨励賞を頂きありがとうございました。上京区総合庁舎が「絆で織りなす住みよいまち上京」を築くための拠点となり，区民の皆様にいつまでも親しまれ，愛され続けることを願っています。

株式会社 東畑建築事務所

桜木町の家並み

【所在地】上京区桜木町
【建築主】みやこエステート株式会社
【設計者】一級建築士事務所 内田康博建築研究所
【施工者】有限会社 秀建
【用　途】住宅
【構　造】木造
【規　模】地上2階，地上3階
【施工年】平成26年（新築，改修）
【景観規制】旧市街地型美観地区

受賞者の声

最も大切にしたのは，大正時代築の希少な建物を残し桜木町の家並みを守ることでした。南北2軒の町家に挟まれた空き地には町家を模した新築を建てました。京都の景観維持に貢献できたことを嬉しく思います。

みやこエステート株式会社
代表取締役 原田 詔石

虎屋 京都店

【所在地】上京区一条通烏丸西入広橋殿町400
【建築主】株式会社 虎屋
【設計者】内藤廣建築設計事務所
【施工者】鹿島建設株式会社 関西支店
【用　途】飲食店，菓子製造所
【構　造】鉄筋コンクリート造，鉄骨造
【規　模】地上2階
【施工年】平成21年（新築）
【景観規制】歴史遺産型美観地区 一般地区

受賞者の声

虎屋は室町時代後期に京都で創業，永年にわたり菓子屋を営んでまいりました。虎屋京都店は喫茶，製造，事務，ギャラリーを含む建物で，瓦屋根の傾斜を江戸時代からある蔵と揃え，京都御所に近い環境に配慮しました。鬼瓦や建具などに京都の匠の技が活かされてます。

株式会社 虎屋

西陣の家

【所在地】上京区上立売通浄福寺半丁西入る真倉町
【建築主】土井伸宏
【設計者】プラネットクリエイションズ関谷昌人建築設計アトリエ
【施工者】株式会社 竹田工務店
【用　途】住宅
【構　造】木造
【規　模】地上2階
【施工年】平成25年（新築）
【景観規制】旧市街地型美観地区

受賞者の声

京都特有のうなぎの寝床の敷地の建替えである。今日の暮らしに沿うよう，3つのユニットで中庭を挟んで配するプランとした。外観は，総漆喰，サビ鉄板で外壁を構成し，道路側は格子のアプローチで西陣の景観に調和させた。

プラネットクリエイションズ
関谷昌人建築設計アトリエ
関谷 昌人

奨励賞

京都大学 稲盛財団記念館

【所在地】左京区吉田下阿達町46
【建築主】京都大学
【設計者】株式会社 日建設計, 株式会社 三信建築設計事務所
【施工者】株式会社 浅沼組

【 用 途 】学校
【 構 造 】鉄筋コンクリート造
【 規 模 】3階
【施工年】平成20年(新築)
【景観規制】岸辺型美観地区
山並み背景型美観地区

受賞者の声

稲盛財団記念館は，本学が我が国を代表する学問の府として，地域社会はもとより，国際社会において21世紀の更なる学術・文化の発展に貢献していくため，財団法人稲盛財団の寄付により平成20年に建築されました。

京都大学施設部

ゑびす小路

【所在地】左京区石原町279-6
【建築主】株式会社 八清
【設計者】有限会社 スペースグラフィティー級建築士事務所
【施工者】株式会社 亀田工務店

【 用 途 】集合住宅
【 構 造 】木造
【 規 模 】地上2階
【施工年】平成26年(新築)
【景観規制】旧市街地型美観地区

受賞者の声

由緒ある地に石畳路地と町家ファサードを有する「今町家」をコンセプトに計画致しました。受賞を励みに，大切に管理を行い近隣地と共存し続けて参りたいです。

株式会社 八清
鈴木 章雄

Art Space-MEISEI

【所在地】中京区寺町通竹屋町上る行願寺門前町3
【建築主】木下仁之輔
【設計者】株式会社 ローバー都市建築事務所
【施工者】株式会社 かねわ工務店

【 用 途 】店舗併用住宅
【 構 造 】鉄筋コンクリート造
【 規 模 】3階
【施工年】平成23年(新築)
【景観規制】歴史遺産型美観地区 一般地区

受賞者の声

上品な茶道具や美術店が立ち並び，雅の文化の香りをはぐくむ京都寺町界隈，現代和を基調としながらも，伝統美の良さを感じさせる洗練された意匠デザインは，今後の京都における建物のありかたを予見させる，ひとつの参考事例となることを願っています。

株式会社 ローバー都市建築事務所
野村 正樹

京都東宝公楽ビル／ロイヤルパークホテル ザ 京都

【所在地】中京区三条通河原町東入中島町74番地
【建築主】東宝株式会社
【設計者】株式会社 竹中工務店 大阪本店 設計部
【施工者】株式会社 竹中工務店 京都支店

【 用 途 】ホテル, 飲食店舗, 物販店舗
【 構 造 】鉄筋コンクリート造
【 規 模 】地上9階地下1階
【施工年】平成23年(新築)
【景観規制】旧市街地型美観地区
沿道型美観地区

受賞者の声

“その場所に相応しい”というご評価を頂けたことは，京都という美意識の高い場所で事業を行う者にとってこの上ない喜びです。国内外の多くのお客様にとって，京都の宿として永く愛される存在になれば幸いです。

東宝株式会社
和田 薫一郎

京都文化医療専門学校

【所在地】中京区御池通堀川西入池元町408番地1
【建築主】学校法人 未来学園
【設計者】株式会社 竹中工務店 大阪本店 設計部
【施工者】株式会社 竹中工務店 京都支店

【 用 途 】学校
【 構 造 】鉄骨造
【 規 模 】4階
【施工年】平成25年(新築)
【景観規制】歴史遺産型美観地区 一般地区

受賞者の声

「和」の文化と教養に基づく人間教育の場が表出される，「侘び」・「寂び」に通じる簡素で落ち着きのある佇まいとし京の町並みと二条城を含む周辺の景観にも調和した「文化・教養の私塾」となることを願っています。

京都文化医療専門学校
竹内 健二

西洞院の家

【所在地】中京区西洞院通御池下ル三坊西洞院町556
【建築主】株式会社 丸久小山園(1階)
三善工芸株式会社(2階)
【設計者】株式会社 スペース(1階)
有限会社 テクトスタジオ(2階)
【施工者】ジオテック建設株式会社(1階)
株式会社 久世工務店(2階)

【 用 途 】店舗併用住宅
【 構 造 】木造
【 規 模 】2階建て
【施工年】平成20年(改修)
【景観規制】旧市街地型美観地区

受賞者の声

空き家になっていた建築主の生家を全面リフォームし，2 階を住まい，1階をテナントの店舗スペースとしました。町家本来の雰囲気を持つデザインに復元し，テナントの店舗部分もそれに合わせてデザインされています。

有限会社テクトスタジオ
荒川 晃嗣

nitera shinka

【所在地】中京区新烏丸通二条上ル橋柳町168-5
【建築主】生川恵津子
【設計者】kotarookuda architect office
【施工者】株式会社 木村工務店

【 用 途 】店舗併用住宅
【 構 造 】木造
【 規 模 】地上 2 階
【施工年】平成25年(改修)
【景観規制】旧市街地型美観地区

受賞者の声

改修という形でこの佇まいに戻す事へ協力して頂いた施主様，関係者の方に感謝します。このような町家は都市にとっては小さな建築ですが，これからの京都の都市空間の必要な一部になれば幸いです。

kotarookuda architect office
奥田 紘太朗

白鳳堂京都本店

【所在地】中京区寺町通二条上ル要法寺前町715-1
【建築主】株式会社 白鳳堂ホールディングス
【設計者】有限会社 ケイ・アソシエイツ
【施工者】要建設株式会社

【 用 途 】店舗
【 構 造 】鉄筋コンクリート造
【 規 模 】地上2階
【施工年】平成26年(新築)
【景観規制】旧市街地型美観地区

受賞者の声

この度の受賞を真に光栄に存じます。建物には京都の伝統への敬意と，ここから道具としての筆を世界へ発信してゆく志を籠めました。景観とともに商いもこの町に相応しくあるように励んでまいります。

株式会社 白鳳堂
代表取締役 髙本 和男

奨励賞

FORTUNE GARDEN KYOTO

【所在地】 中京区河原町通二条下ル一之船入町386-2
【建築主】 株式会社Plan·Do·See
【設計者】 株式会社 ノム建築設計室
【施工者】 太平工業株式会社

【 用 途 】 店舗
【 構 造 】 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
【 規 模 】 地上5階地下1階
【施工年】 平成24年(増築)
【景観規制】 沿道型美観形成地区

受賞者の声

1927年に竣工された「島津製作所 旧本社ビル」。この歴史的名建築をレトロ·モダンな雰囲気はそのままに，リノベーションいたしました。今後はレストラン，パーティーのスペースとして京都の街と共に歩んでまいります。

株式会社Plan·Do·See

三井ガーデンホテル京都新町別邸

【所在地】 中京区新町通六角下る六角町361
【建築主】 株式会社 大丸松坂屋百貨店
【設計者】 株式会社 竹中工務店 大阪本店 設計部
【基本構想】 アーキテクツオフィス 石川雅英
【設計監修】 S&T FIVE STAGE 津田榮一
【施工者】 株式会社 竹中工務店 京都支店

【 用 途 】 ホテル
【 構 造 】 鉄筋コンクリート造
【 規 模 】 地上5階
【施工年】 平成26年(増築)
【景観規制】 旧市街地型美観地区

受賞者の声

歴史的な京都の景観に対する姿勢や具体的な建築的手法の試みについてご評価を頂けたことは，これに携わった全ての関係者にとって大変喜ばしいものであり，関係者一同，深く感謝申し上げます。

株式会社 竹中工務店 大阪本店 設計部
小林 浩明

ぎをん 天婦羅 天宗

【所在地】 東山区祇園町南側570-119
【建築主】 株式会社 味覚
【設計者】 株式会社 ライフ建築設計室
【施工者】 株式会社 大林組 京都支店

【 用 途 】 店舗
【 構 造 】 木造
【 規 模 】 地上2階
【施工年】 平成23年(新築)
【景観規制】 歴史遺産型美観地区
祇園町南歴史的景観保全修景地区

受賞者の声

祇園という場所が持つ"歴史""佇まい"をお客様に感じてもらう為，本物志向で落ち着きがあるだけでなく，どこか凛として洗練された上品さを感じさせる外観となるよう配慮し設計を行った。

株式会社ライフ 建築設計室
山本 満明

総本山知恩院 和順会館および参道

【所在地】 東山区新橋通大和大路東入林下町400番2
【建築主】 宗教法人知恩院
【設計者】 株式会社 竹中工務店 大阪本店 設計部
【施工者】 株式会社 竹中工務店 京都支店

【 用 途 】 宿泊施設，参道
【 構 造 】 鉄筋コンクリート造
【 規 模 】 地上3階地下2階
【施工年】 平成23年(新築)
【景観規制】 風致地区第5種地域
風致地区第3種地域
風致地区特別修景地域
(青蓮院·知恩院)

受賞者の声

この度は京都景観賞建築部門奨励賞を賜り，厚く御礼申し上げます。現代によみがえった歴史ある参道と和順会館が，東山の風景の一つとなり，これからも愛され続けることを願っています。

竹中工務店 設計部
松浦 真樹

東山の家

【所在地】 東山区今熊野南日吉町
【建築主】 旭喜久子
【設計者】 SOL一級建築士事務所
【施工者】 株式会社 SOL

【 用 途 】 住宅
【 構 造 】 木造
【 規 模 】 地上2階
【施工年】 平成23年(新築)
【景観規制】 山ろく型美観地区

受賞者の声

制約でとしてではなく，デザイン基準により伝統的意匠を大手を振って引用する自由を与えられた事と，あらわしの木組みを明快にした事で東山山麓に沿う小住宅となりました。

SOL一級建築士事務所
大杉 和弘

外市秀裳苑ビル

【所在地】 下京区四条通烏丸東入長刀鉾町27番地
【建築主】 外市株式会社
【設計者】 株式会社 竹中工務店 大阪本店 設計部
【施工者】 株式会社 竹中工務店 京都支店

【 用 途 】 店舗
【 構 造 】 鉄骨造
【 規 模 】 地上7階地下2階
【施工年】 平成26年(新築)
【景観規制】 沿道型美観地区
旧市街地型美観地区

受賞者の声

このたびは京都景観賞建築部門の奨励賞を頂き，誠にありがとうございます。このような栄えある賞を頂けるとは全く思いもよらないことで，地元関係者の皆様の温かいお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

外市株式会社
代表取締役社長 西村 利男

平成の京町家 双ヶ岡の庵

【所在地】 右京区
【建築主】 個人
【設計者】 空間工房 用舎行蔵 一級建築士事務所
【施工者】 株式会社 竹内工務店

【 用 途 】 住宅
【 構 造 】 木造
【 規 模 】 地上2階
【施工年】 平成26年(新築)
【景観規制】 風致地区第2種地域
風致地区第5種地域

受賞者の声

深い軒。映し出される陰影。リズムを刻む格子。香り立つ木の風合い。潤いある緑。街並みに優しさ，温もり，懐かしさをもたらす。そんな景観を生み出す住宅を目指しました。

空間工房 用舎行蔵 一級建築士事務所
村西 弘至

松本酒造 仕込蔵·レンガ倉庫

【所在地】 伏見区横大路三栖大黒町７
【建築主】 松本酒造株式会社
【設計者】 一級建築士事務所 木四郎建築設計室
株式会社 竹中工務店 京都支店
【施工者】 有限会社 淀川造船所

【 用 途 】 酒造施設
【 構 造 】 仕込蔵:木造,レンガ倉庫:レンガ造
【 規 模 】 仕込蔵:地上2階,レンガ倉庫:平家
【施工年】 仕込蔵:平成25,26年(改修)
レンガ倉庫:平成23年(改修)
【景観規制】 旧市街地型美観地区

受賞者の声

現在も清酒の仕込み蔵として現役で働き続けている木造建の大黒蔵は，今後も大切に維持管理し，活用せねばなりません。又，八角形レンガ煙突とレンガ倉も国の産業遺産に認定され，一連の伏見のランドマークとして，松本酒造のお酒と共に皆様に親しんで頂ければ有難いです。

松本酒造株式会社
代表取締役社長 松本 保博

奨励賞総評

平成２６年度京都景観賞建築部門を募集したところ，当初の予想を超える２６９件の応募があったため，市長賞，優秀賞に加えて，京都の景観形成に貢献していることを表彰し，広く市民の皆様にお知らせするため，奨励賞が設けられた。

「桜木町の家並み」は京町家が並ぶ通りの空地に，京町家風の新築を建て，隣家の京町家を改修することで通り景観の再生を目指している。

「総本山知恩院 和順会館および参道」は建物のみではなく周辺の参道を整備することで建物単体では創造できない景観を形成した。

「東山の家」は周辺の自然景観と調和し，巧みに周辺の景観を建物内部へ取り込むように計画されている。

「西洞院の家」「nitera shinka」は京都の景観に調和するように京町家を再生させた建築物であり，「FORTUNE GARDEN KYOTO」「松本酒造 仕込蔵・レンガ倉庫」は京都に馴染みのある建築物を活かし，増築，改修した建築物である。それに対して，新築することによって京町家の通り景観を再生することを試みた「西陣の家」「ゑびす小路」「ぎをん 天婦羅 天宗」は，日本的構成要素を取り入れ，優れた意匠により，魅力的な景観の形成に寄与しており，京都の記憶を景観に刻印している。

「平成の京町家 双ヶ岡の庵」は駐車場の設置位置などの問題を解決し，前面道路から壁面を大きく後退することなく建てられている点も評価された。

「虎屋 京都店」「京都東宝公楽ビル / ロイヤルパークホテル ザ 京都」「白鳳堂京都本店」「外市秀裳苑ビル」は周辺のまちなみに調和するとともに，現代的な新しい建築表現にもチャレンジした優れた意匠の建築物である。

「京都文化医療専門学校」は世界遺産である二条城周辺界隈の景観を創造している。

以上，奨励賞の作品の講評をごく簡単に述べたが，それぞれに伝統文化の継承と新たな創造が調和する景観の形成を目指した優れた作品であり，「優秀賞」に匹敵する作品も少なくない。名称は「奨励賞」であるが，優れた作品として表彰するものであることをご理解いただければ幸いである。奨励賞の作品のような質の高い建築群の裾野が大きく広がっていく先に，50 年後，100 年後の京都の景観創生が見えてくるに違いない。

受賞一覧

■市長賞

京都八百一本館 …… p03-04
京都国立博物館 平成知新館 …… p05-06
龍谷大学 龍谷ミュージアム …… p07-08

■優秀賞

旧森留 …… p09
ザ・リッツ・カールトン京都 …… p10
あじき路地 …… p11

■奨励賞

上京区総合庁舎 …… p12
桜木町の家並み …… p12
虎屋 京都店 …… p12
西陣の家 …… p12
京都大学 稲盛財団記念館 …… p13
ゑびす小路 …… p13
Art Space-MEISEI …… p13
京都東宝公楽ビル／ロイヤルパークホテル ザ 京都 … p13
京都文化医療専門学校 …… p14
西洞院の家 …… p14
nitera shinka …… p14
白鳳堂京都本店 …… p14
FORTUNE GARDEN KYOTO …… p15
三井ガーデンホテル京都新町別邸 … p15
ぎをん 天婦羅 天宗 …… p15
総本山知恩院 和順会館および参道 … p15
東山の家 …… p16
外市秀裳苑ビル …… p16
平成の京町家 双ヶ岡の庵 …… p16
松本酒造 仕込蔵・レンガ倉庫 …… p16

【写真提供】表紙・裏表紙掲載写真
京都国立博物館 平成知新館：北嶋俊治／龍谷大学 龍谷ミュージアム：東出清彦写真事務所／ザ・リッツ・カールトン京都：スタジオムライ／
虎屋 京都店：photo a.fukuzawa／ゑびす小路：STEP 山口幸裕／京都文化医療専門学校：古川泰造／三井ガーデンホテル京都新町別邸：古川泰造／
総本山知恩院 和順会館および参道：株式会社 竹中工務店／東山の家：岡田大次郎／平成の京町家 双ヶ岡の庵：岡田大次郎

京都景観賞建築部門について

目的

京都の景観と調和し，更に創造的な視点が加えられた優れた建築物を表彰することにより，
現代における京都の建築文化を発展させ，世界に発信することを目的とします。

審査基準

次の観点から特に優れていること

- ●地域の自然・歴史・文化，周辺の町並み・コミュニティ等に配慮した建築物で，今後の京都の景観形成の指標と目されるもの
- ●独自の工夫や創造的な視点により，新たな京都の景観形成の可能性を示唆するもの

対象建築物

京都市内で平成１５年７月以降に新築，増築，改修等が行われた建築物
※第２回景観まちづくりコンクール（平成15年度開催）以前の建築物は対象外です。

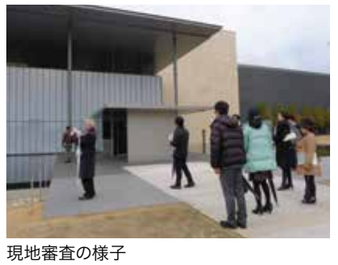
募集期間

平成26年11月20日(木)～平成26年12月24日(水)

応募総数

269件
（複数のご応募を頂いた建築物の重複を除いた作品数 240件）

第1回審査会の様子


現地審査の様子

審査委員会

第1回（書類審査）	2015年1月16日(金)
第2回（現地審査，最終選考）	2015年1月26日(月)

審査委員会委員

門内 輝行	委員長	京都大学大学院教授
大西 麻貴	委員	建築家，大西麻貴＋百田有希／o＋h主宰
髙橋 康夫	委員	花園大学教授，京都大学名誉教授
堀木 エリ子	委員	和紙デザイナー，株式会社堀木エリ子&アソシエイツ代表取締役
宮城 俊作	委員	奈良女子大学大学院教授，設計組織PLACEMEDIAパートナー，宗教法人平等院代表役員

この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。コミュニティ回収や古紙回収等にお出しください。

リニアを、京都へ。

京都市 都市計画局 都市景観部 景観政策課
〒604−8571 京都市中京区寺町通御池上る 京都市役所北庁舎2階

京都市印刷物第263221号　平成27年3月発行